

世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.12 —

▼2010年アル・マクトゥームチャレンジラウンド3 (G2)

▲2009年秋華賞 (G1)

「牝馬の時代」を支えた名牝 レッドディザイア

ウオッカ、ダイワスカーレットらの出現によって築かれた「牝馬の時代」。レッドディザイアはライバルのブエナビスタとともに、そのムーブメントの一角を占めた名牝である。

2006年4月、先ごろ惜しまれながら急逝したマンハッタンカフェを父としてこの世に生を受けたレッドディザイアは、3歳の1月にデビュー。この芝1800mの新馬戦で牡馬を撫で斬りにすると、続くオープンのエルフィンSでも信じがたいほどの末脚の切れを見せてハナ差で勝利。2戦2勝の戦績を引っ提げて、前年の2歳女王ブエナビスタが待ち受ける桜花賞へと向かう。

牝馬クラシック第1戦は激しいレースとなった。前半、後方で待機したレッドディザイアは直線半ばで鋭く馬群を抜け出して先頭に立ったが、その外から怒濤の追い込みを見せたブエナビスタに半馬身交わされて2着。続く第2戦のオウクスは、桜花賞をさらに上回る激闘になる。ここでも直線で中団から伸びたレッドディザイアが先に先頭に立つが、ブエナビスタが後方からそれを急襲。2頭がもつれ合うようにゴールに飛び込んだが、ブエナビスタが僅かにハナ差、先着していた。

2頭のライバル物語は秋にも続き、3度目の対戦が秋華賞で実現。レッドディザイアはまたも早めの仕掛けで先頭に立つと、猛然と追い込んでくるブエナビスタをハナ差抑えて、ようやく雪辱を果たすとともに、初のGIタイトルを奪取した（ブエナビスタは進路妨害のため2位入線、3着降着）。

全成績		中央10戦3勝 海外4戦1勝					
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手	
2009. 1. 4	京都	メイクデビュー京都	1800	1	1:48.9	四位 洋文	
2. 7	京都	エルフィンS	1600	1	1:36.0	四位 洋文	
4.12	阪神	桜花賞 (JpnI)	1600	2	1:34.1	四位 洋文	
5.24	東京	優駿牝馬 (JpnI)	2400	2	2:26.1	四位 洋文	
9.20	阪神	関西テレビ放送賞ローズS (GII)	1800	2	1:44.7	四位 洋文	
10.18	京都	秋華賞 (G1)	2000	1	1:58.2	四位 洋文	
11.29	東京	ジャパンカップ (G1)	2400	3	2:22.6	四位 洋文	
2010. 3. 4	ドバイ	アル・マクトゥームチャレンジラウンド3 (G2)	全2000	1	2:02.6	O. ベリエ	
3.27	ドバイ	ドバイ・ワールドC (G1)	全2000	11	—	C.スミヨン	
5.16	東京	ヴィクトリアマイル (G1)	1600	4	1:32.5	四位 洋文	
10. 2	米	フラワーボウル招待S (G1)	2000	3	—	K.デザーモ	
11. 5	米	ブリーダーズC・フィリー&メアターフ (G1)	2200	4	—	K.デザーモ	
12.26	中山	有馬記念 (G1)	2500	14	2:34.0	四位 洋文	
2011. 8.21	札幌	札幌記念 (GII)	2000	3	2:00.5	四位 洋文	

※レース名は当時の表記による



その後レッドディザイアはジャパンカップに挑み、ウオッカの3着に食い込む健闘を見せた。

4歳の春、彼女はドバイへ遠征し、まずステップレースとなるアル・マクトゥームチャレンジラウンド3に出走。直線の入り口までは後方に位置したが、そこから目の覚めるような末脚を繰り出して一気に馬群を飲み込んで快勝。この衝撃的な勝利を受けて、陣営は目標をドバイ・シーマクラシックからドバイ・ワールドCへと変更したが、本番では末脚が不発に終わり、残念ながら11着に敗れた。

レッドディザイアはその年の秋、今度は米国へと遠征した。初戦のフラワーボウル招待Sが3着、2戦目のブリーダーズC・フィリー&メアターフが4着と好走を果たし、あらためて能力の高さを証明している。

現役時代、手にしたGIタイトルは一つだけだったが、2度の海外遠征を敢行するなかで重賞勝ちを収めたそのポテンシャルは一級品。繁殖牝馬としての期待もかかるなか、初仔のレッドディヴェルが8月にデビューを果たした。今後は母としての活躍に注目である。

レッドディザイア 牝 鹿毛 2006年4月19日生
調教師：松永幹夫 馬主：(株)東京ホースレーシング

父 マンハッタンカフェ 1998 青鹿	サンデーサイレンス	Halo Wishing Well
	サトルチェンジ	Law Society Santa Luciana
母 グレイトサンライズ 1998 鹿	Caerleon	Nijinsky Foreseer
	Grace And Glory	Sadler's Wells Grace Note